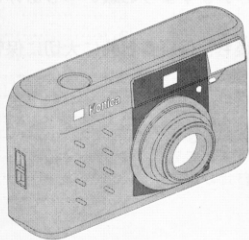
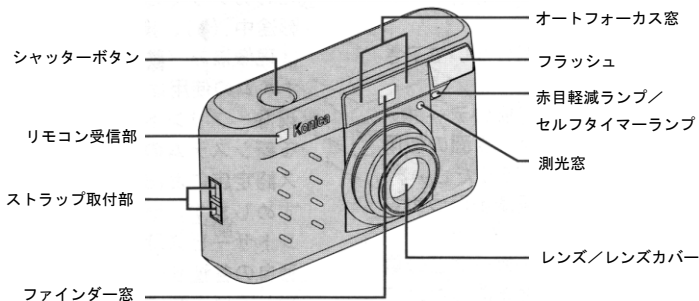
Konica

Revio

ご使用前に必ず
お読みください。

使用説明書

各部の名称

ストラップの取付け方

＊ 調節具の突起部はSETスイッチまたは途中巻き戻しスイッチを押すときに使用してください。

ファインダーと表示ランプ

緑ランプ

ファインダー接眼窓

ブリントタイプ
切替えスイッチ

電池室カバー

スイッチ
(MODE,DATE,TITLE,
SET,途中巻き戻し)

三脚穴

ズームスイッチ

赤ランプ

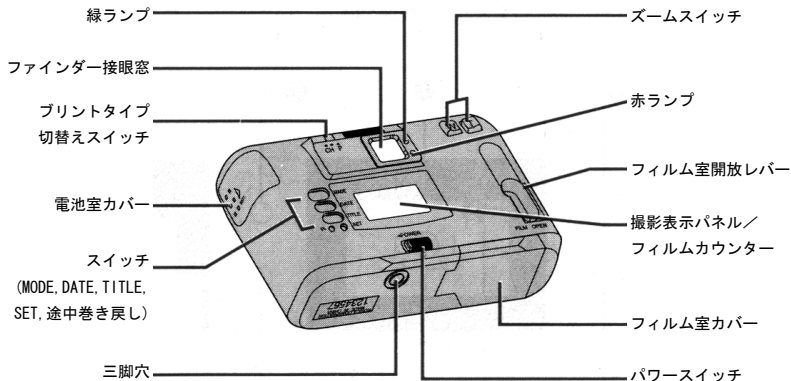
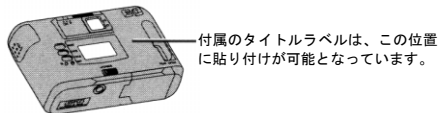
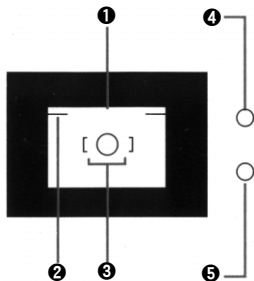
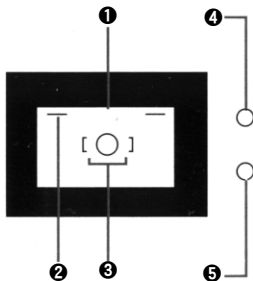
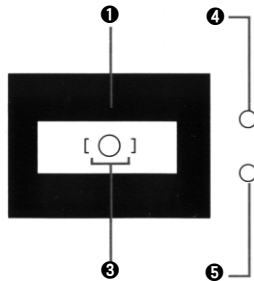
フィルム室開放レバー

撮影表示パネル／
フィルムカウンター

フィルム室カバー

パワースイッチ

タイトルラベルの貼り位置

付属のタイトルラベルは、この位置
に貼り付けが可能となっています。

Cタイプ撮影時
Hタイプ撮影時
Pタイプ撮影時
❶
❷
❸
❹
❺

❶ 撮影範囲フレーム
このフレームの内側が実際に写る範囲です。

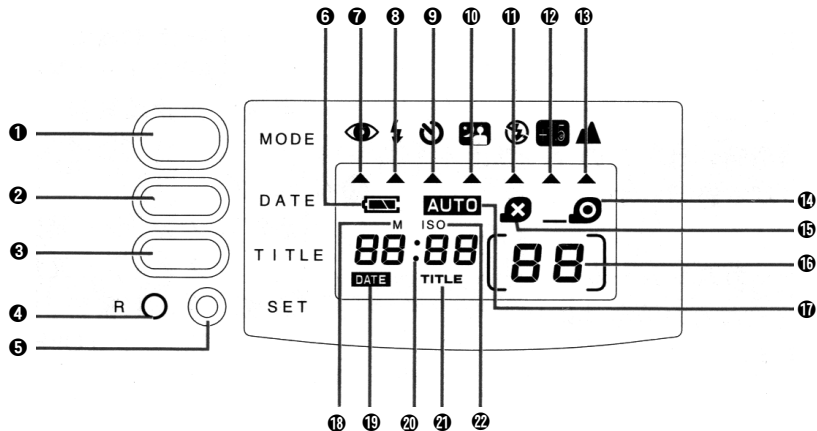
❷ 近距離補正マーク
近距離撮影時には、このマークより下側が写る範囲です。

❸ オートフォーカスフレーム
このフレーム内の被写体にピントが合います。

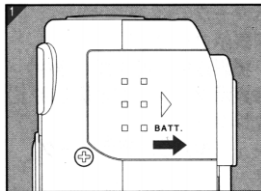
❹ 緑ランプ
（点灯）AE・AFロック完了
〔AE;自動露出　AF;フォーカスロック〕
（点滅）近距離警告

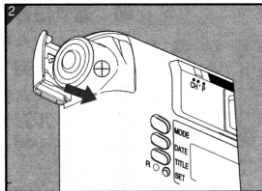
❺ 赤ランプ
（点灯）フラッシュ発光予告表示
フラッシュ充電中表示
（点滅）手ぶれ警告(フラッシュOFFモード時)

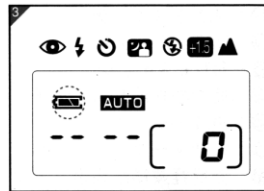
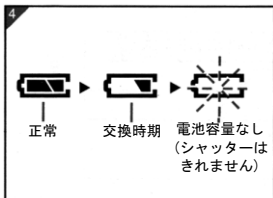
撮影表示パネル

＊図は全ての液晶を点灯状態で示してあります。

❶：MODEスイッチ
❷：DATEスイッチ
❸：TITLEスイッチ
❹：途中巻き戻しスイッチ
❺：SETスイッチ
❻：電池マーク
❼：赤目軽減撮影表示マーク
❽：日中フラッシュ撮影表示マーク
❾：セルフタイマー撮影表示マーク
❿：ポートレート夜景撮影表示マーク
⓫：フラッシュなしの撮影表示マーク
⓬：+1.5露出補正撮影表示マーク
⓭：遠景撮影表示マーク
⓮：フィルム状態表示マーク(給送完了、撮影途中、巻き戻し途中)
⓯：フィルム状態表示マーク(巻き戻し完了)
⓰：フィルムカウンター
⓱：自動フラッシュ(AUTO)表示マーク
⓲：月表示マーク
⓳：日付・時刻記録マーク
⓴：日付・時刻表示／タイトル表示／ISO感度表示
㉑：タイトル記録マーク
㉒：ISO感度表示マーク

1. 電池の入れ方

＊電池を入れた時や交換した時はオートデートの調節およびタイトルの確認をしてください。

電池室カバーを矢印の方向へスライドさせるとカバーが開きます。

＊ カメラに電池が入っていないとき、パワースイッチをONにするとレンズが開きますが故障ではありません。電池を入れてパワーをOFFにすると、自動的に閉じます。

電池の＋、－を電池室内側の表示に合わせて正しく入れ、電池室カバーを閉じて電源ONにしてください。

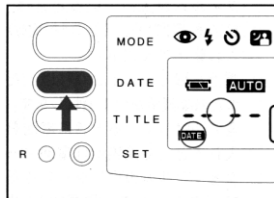
⚠警告	爆発して大けがの危険があります。電池を火の中に入れたり、ショート、分解、加熱、充電をしないでください。
⚠警告	電池は乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込むと死亡する危険があります。

撮影表示パネルを見てください。電池マークが黒く点灯していれば、電池容量はOKです。

使用する電池はリチウム電池(CR2:3V)1本です。

* 撮影の途中で電池マークが2/3白くなったら、最後まで撮影し、巻き戻した後、電池を交換してください。
* 長期間の旅行などには、予備の電池を用意しておくことをおすすめします。
* 連続してフラッシュ撮影をすると電池容量が少ない表示になることがありますが、しばらく待ってから再度電源ONにしたとき、電池の容量が十分な表示になればそのまま撮影できます。
* 寒冷地では電池の性能が低下しますのでカメラを保温しながらご使用ください。まれに電池の容量が十分でも電池の容量がない表示になることがあります。このときは再度シャッターボタンを押してください。

電池交換をするときのご注意

1) 電池交換をするときは必ず電源をOFFにしてから行ってください。
2) 電池マークが全部白くなるとシャッターがロックされます。
   フィルムが入っているときは、電池を手ばやく(20秒以内)入れ替えてください。
3) 電池を取り出して20秒以上たつと液晶表示が全て消灯します。
   全て消灯しているときに電池を入れると、液晶表示は電池マークとフィルムカウンターの枠だけが点灯します。電源ONにすると、自動的に電源ON・OFFの動作が行われた後に、電源ONの状態になります。このときにカメラ内に撮影途中のフィルムが入っていると、自動的に巻き戻しが行われます。
4) 電池交換後に電源ONしても、電池マークが全部白くなる場合は故障です。当社サービスステーションにお持ちください。

2. オートデート

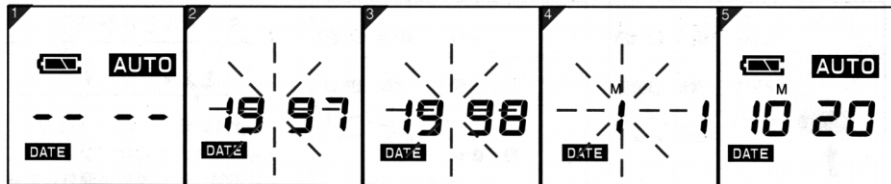
＊2050年までの日付・時刻を撮影時にフィルムに記録することができます。

電源をONにし、DATEスイッチを押すと日付・時刻記録マークが点灯します。DATEスイッチを押すごとにデート記録表示が切り替わり循環します。

デート記録表示	プリント時の印字内容
記録表示なし	印字なし
西暦(4桁)	年・月・日
月・日	年・月・日
時・分	月・日・時・分

＊ 各デート記録は、フィルムには磁気により撮影画面外に記録されます。

＊ 各デート記録は、新システムの現像プリントサービス認定店でプリントする際に印字されます。
印字される位置は表面、裏面の同時印字となりますが、認定店によっては裏面印字のみとなる場合もありますので、店頭にてご確認ください。

＊ プリントの際には、選択した言語によって年・月・日の表示順序が異なります。

日付・時刻の修正(電池を入れたとき、交換したときは日付・時刻を合わせてください。)

1 電池を入れてください。パワースイッチを入れてカメラの電源をONにして、DATEスイッチを押してください。最初の日付・時刻表示は、‥‥の記録表示なしとなっています。

2 DATEスイッチを押し続けると修正モードになり、西暦の数字が点滅します。

3 SETスイッチを押して点滅している数字を修正してください。

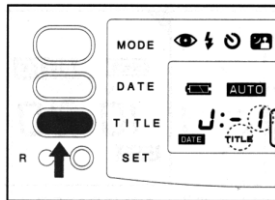
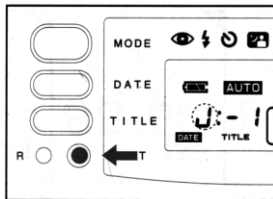
＊修正は、数字を大きくしていくことしかできません。大きくしすぎた場合は、更に押し続けてください。小さい数字に戻り、再度大きい数字になってきます。

4 DATEスイッチを押すと修正する箇所が切り替わりますので、月・日・時・分も修正してください。

5 分を修正した後にDATEスイッチを押すと:が点滅します。もう一度DATEスイッチを押してください。修正モードが終わります。

＊ 秒まで合わせるには、:の点滅時に時報に合わせてDATEスイッチを押してください。

3. タイトル

＊撮影と同時に、フィルムに選択したタイトルを記録することができます。

電源をONにし、TITLEスイッチを押すとタイトル記録マークが点灯し、タイトル選択可能な状態になります。
TITLEスイッチを押すごとにタイトル番号が切り替わり循環します。

TITLEスイッチを押した後に、SETスイッチを押すと言語選択可能な状態になり、SETスイッチを押すごとに言語記号が切り替わり循環します。

＊ 日本語を使用の場合は、言語記号に工場出荷の際、既に、｢J｣（日本語）に設定されていますので言語選択の必要はありません。

タイトルと言語表示

＊ 各タイトル記録は、フィルムには磁気により場影画面外に記録されます。
＊ 各タイトル記録は、新システムの現像プリントサービス認定店でプリントする際に印字されます。印字される位置は認定店により異なる場合がありますので店頭にてご確認ください。

＊タイトルの選択(タイトル番号を選択してください。)

1) 電源をONにし、TITLEスイッチを押してタイトル記録マークを点灯させ、タイトル選択可能な状態にしてください。
2) TITLEスイッチを押すごとに、タイトル番号が順次表示されますので希望のタイトル番号のところで止めてください。選択は完了です。

＊ デート記録モードでタイトルをセットすると、日付や時刻も同時に印字されます。デート記録表示なしモード(-- --表示)でタイトルをセットすると、タイトルのみ印字されます。
＊ 電源をOFFにすると、選択したタイトルはキャンセルされてしまい何も記録されません。
再度電源をONにしたときにはタイトルを選択し直してください。

タイトル番号表：言語記号「Ｊ」日本語の場合

番号	タイトル(印字内容)
1	オメデトウ
2	カンゲキ！
3	カワイイデショ！
4	ウレシイナ
5	ヨロシク！
6	メリークリスマス
7	オタンジョウビオメデトウ
8	サイコー！

＊ 他言語のタイトルを選択したい場合は、先に言語記号を選択してください。
＊ タイトルの内容及びタイトル数は、選択した言語により異なります。

＊選択したタイトルと言語の全てが印字可能とは限りませんので、印字可能であるかは撮影の前に新システムの現像プリントサービス認定店でご確認ください。

タイトル番号表（各言語記号とタイトルの組み合わせ）

タイトル番号	タイトル　（＊カッコ内は日本語にした場合の意味）		
	言語記号：E（英語：アメリカ語）	言語記号：F（フランス語）	言語記号：dE（ドイツ語）
1	I love you（アイラブユー）	Je t'aime（アイラブユー）	Ich liebe Dich（アイラブユー）
2	Thank You（ありがとう）	Merci（ありがとう）	Dankeschön（ありがとう）
3	Season's Greetings（シーズン グリーティング）	Meilleurs Voeux（シーズン　グリーティング）	Herzlichen Glückwunsch zum Geburtstag（誕生日おめでとう）
4	Happy Birthday（お誕生日おめでとう）	Joyeux anniversaire（お誕生日おめでとう）	Fröhliche Weihnachten（メリークリスマス）
5	Congratulations（おめでとう）	Félicitations（おめでとう）	Frohes Neues Jahr（あけまして おめでとう）
6	Merry Christmas（メリークリスマス）	Joyeux Noël（メリークリスマス）	――
7	Valentine's day（バレンタイン デー）	――	――

タイトル番号表(各言語記号とタイトルの組み合わせ)

タイトル番号	タイトル (＊カッコ内は日本語にした場合の意味)		
	言語記号：S (スウェーデン語)	言語記号：ES (スペイン語)	言語記号：I (イタリア語)
1	Jag älskar dig (アイラブユー)	Te quiero (アイラブユー)	Ti amo (アイラブユー)
2	Tack så mycket! (ありがとう)	Gracias (ありがとう)	Grazie (ありがとう)
3	God Jul och Gott Nytt År! (シーズン グリーティング)	Felices Pascuas (シーズン グリーティング)	Buone Feste (シーズン グリーティング)
4	Grattis på födelsedagen (誕生日おめでとう)	Feliz cumpleanõs (誕生日おめでとう)	Buon Compleanno (誕生日おめでとう)
5	Gratulerar! (おめでとう!)	Felicidades (おめでとう)	Congratulazioni (おめでとう)
6	God Jul (メリークリスマス)	Feliz Navidad (メリークリスマス)	Buon Natale (メリークリスマス)

＊タイトルの言語選択(言語記号を合わせてください。)

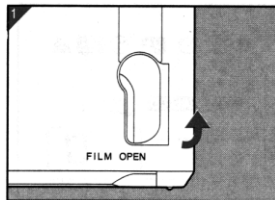
1) 電源をONにし、TITLEスイッチを押してタイトル記録マークを点灯させてください。
2) 次にSETスイッチを押してください。言語選択可能な状態になります。SETスイッチを押すごとに言語記号が順次表示されますので、希望の言語記号のところで止めてください。言語選択は完了です。

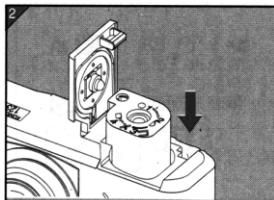
言語記号表

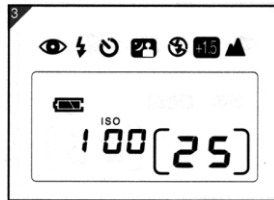
記号	言語名
J	日本語(カタカナ)
E	英語(アメリカ語)
F	フランス語
dE	ドイツ語
S	スウェーデン語
ES	スペイン語
I	イタリア語

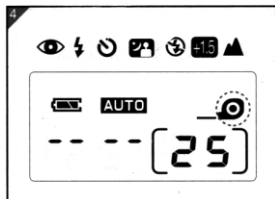
＊ 言語記号は前に戻すことことはできませんので、いきすぎた場合はSETスイッチを再度希望の記号になるまで押し続けてください。

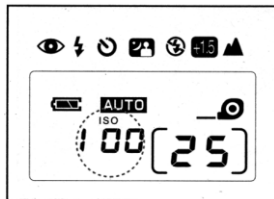
4. フィルムの入れ方

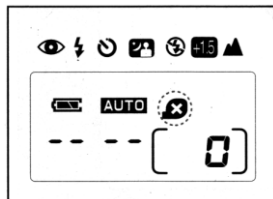
＊IX240カートリッジフィルムをご使用ください。

フィルム室カバー開放レバーを、OPEN(矢印)の方向へ廻してください。フィルム室カバーが開きます。

＊ 使用状態のマークが●(未使用)以外のフィルムは使用しないでください。

カートリッジ(フィルムの容器)を使用状態マーク面の反対側から入れて、フィルム室カバーをカチッというまで確実に閉じてください。自動的にフィルムを送り始めます。

⊘ カートリッジは逆向きなどで無理な力で入れないでください。

フィルムを送り始めるとフィルム感度、電池マーク、規定撮影枚数が撮影表示パネルに表示されます。

＊ フィルム室カバーを閉めると最初にフィルムの情報が読み込まれます。この間は電池のマークとフィルムカウンターの枠だけが表示されます。

撮影表示パネルにが点灯した後フィルムは１枚目の撮影位置で自動的に停止します。

＊ フィルムカウンターは残りの撮影できる枚数(規定撮影枚数)を表示しています。

フィルムが入っていて電源OFFのときは、撮影表示パネルの日付・時刻表示の部分にはフィルム感度を表示します。

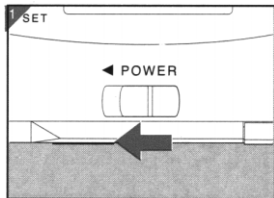
＊ フィルムを入れると、使用フィルムの感度(ISO25～3200)が自動的にセットされます。

フィルムが送られなかったときは、撮影表示パネルにが点灯します。

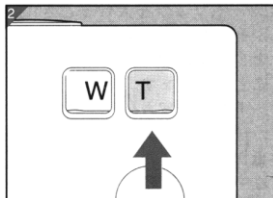
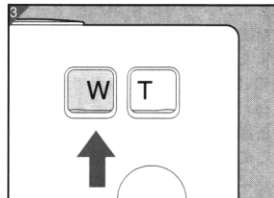
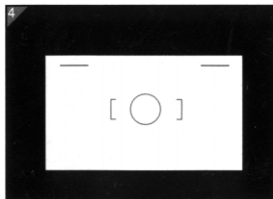
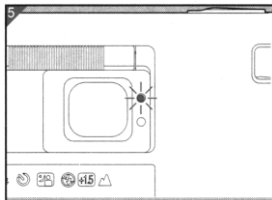
＊ この場合このカメラでは、未使用でもフィルムの使用状態マーク(●)は撮影済み(✖)の表示になり再使用はできなくなります。

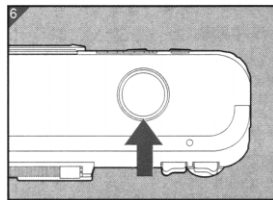
* このカメラでは使用状態マークが撮影途中(◗)、撮影済み(✖)または現像済み(■),を表示しているフィルムは使用できません。これらのフィルムを入れると撮影表示パネルには[icon]が点灯して、フィルムの使用状態マークは撮影済み(✖)の表示になります。

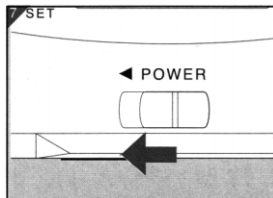
* 撮影途中のフィルムがカメラに入っているときにフィルム室カバーを無理に開けないでください。

* カートリッジを入れるときに、シャッターボタンを押しているとフィルムを自動的に送らないことがあります。その場合、カートリッジ室カバーを開けてもう一度やり直して下さい。
* 低温時にフィルムの巻き戻しが途中で止まり[icon]が点滅したときは常温で電池交換後に途中巻き戻しの操作をしてください。
* [icon]と[icon]が交互に点滅した場合は故障です。当社サービスステーションにお持ちください。

5. 撮影方法(一般撮影) ＊すべての撮影に共通する基本手順をＨタイプの撮影画面で説明します。

パワースイッチを矢印の方向にスライドさせるとレンズカバーが開き、レンズが撮影位置(24mm広角)まで繰り出され、電源ONになります。

＊ 前面のレンズが汚れていたら柔らかい乾いた布で軽く拭きとってください。

ファインダー接眼窓をのぞきながらズームスイッチのＴ側を押すと、画面が望遠側に移動します。希望の構図になったとき指を離して止めてください。

ズームスイッチのＷ側を押すと、画面が広角側に移動します。希望の構図になったとき、指を離して止めてください。

ピントを合わせたい被写体に、オートフォーカスフレームを合わせます。

シャッターボタンを半押しすると緑ランプが点灯し、自動的にピントが合います。

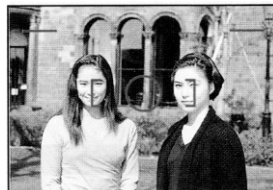
* シャッターボタン半押しで緑ランプが点滅したときは、被写体が近すぎてピントが合わない警告でシャッターがきれません。
* 赤ランプ点灯のときは、充電中ですからシャッターはきれません。

シャッターボタンをさらに深く静かに押し込み、シャッターをきってください。

* 撮影が終るとフィルムが１コマ自動的に送られ、フィルムカウンターの数字が１つ減算されます。

撮影が終わったらパワースイッチを矢印の方向へスライドさせ離してください。電源OFFとなり、レンズが収納され、レンズカバーが閉まります。

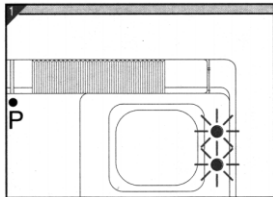
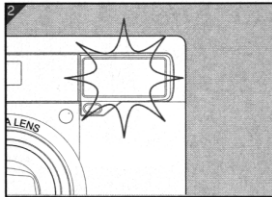
＊ 電源ONのまま約３分間操作をしないと自動的にパワーOFFとなり、レンズが広角側に戻ります。電源ONの状態に復帰させるには以下のいずれかの操作を行ってください。
1)シャッターボタンを押す
2)ズームスイッチを押す
3)MODE、DATE、TITLEスイッチのいずれかを押す。
＊ 続けて撮影しないときは、パワースイッチをスライドさせ、レンズカバーを閉じてください。

日中撮影の距離

焦点距離	撮影距離
24mm	0.5m〜∞
48mm	0.4m〜∞

マルチオートフォーカス

このカメラはマルチオートフォーカスシステムを内蔵しているため、このような構図でもピントが合いやすくなりました。

6. 自動フラッシュの撮影

＊暗いときフラッシュが自動的に発光します。

シャッターボタンを半押して、緑ランプと共に赤ランプが点灯したら、フラッシュが自動的に発光する表示です。

シャッターボタンをさらに深く静かに押し込み、フラッシュ撮影をしてください。

フラッシュ撮影の距離（ネガカラーフィルム使用の場合）

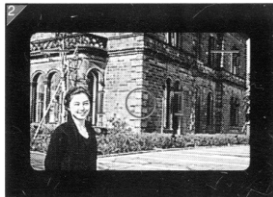
焦点距離	フィルム感度	撮影距離
24mm	ISO 100	0.5m～4.1m
	ISO 400	0.5m～8.2m
48mm	ISO 100	0.4m～2.2m
	ISO 400	0.4m～4.4m

＊ フラッシュ撮影後の赤ランプ点灯は、フラッシュの充電中ですからシャッターはきれません。
＊ 赤ランプ点灯中は、MODEスイッチを押さないでください。
＊ 人物のフラッシュ撮影をするときは、赤目現象を軽減するために赤目軽減撮影をおすすめします。

7. フォーカスロック撮影

＊被写体を画面中央から外してもシャープに写せます。

ピントを合わせたい被写体にオートフォーカスフレームを合わせ、シャッターボタンを半押しすると、緑ランプが点灯してピント位置が固定されます。

＊ フォーカスロックと同時に自動露出も固定されます。

シャッターボタンを半押しのまま希望の構図に決め直し、シャッターボタンをさらに深く静かに押し込みシャッターをきってください。

＊ 構図を決め直すときに撮影距離を変えないでください。

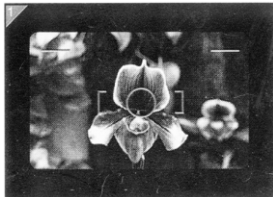
＊ 半押しした指をシャッターボタンから離すと、フォーカスロックは解除され、やり直しができます。

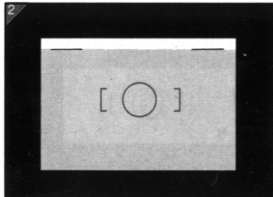
オートフォーカスが正しく働きにくい被写体

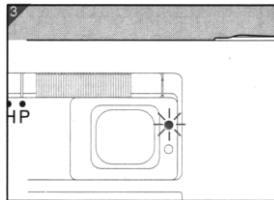
①反射しにくい黒いもの
②小さいもの、細かいもの
③発光体
④光沢のあるもの
⑤雨、霧、煙

これらの実体のないものは測距しにくいので、等距離の測距しやすいものに向けてフォーカスロックをしてください。ガラス越しの撮影も測距しにくいので、遠景では遠景撮影モードで撮影してください。

8. 近距離撮影

＊0.5m(0.4m)まで近づいて近距離撮影ができます。

撮影距離が0.5m(0.4m)～1mの被写体は近距離撮影になります。被写体にオートフオーカスフレームを合わせます。

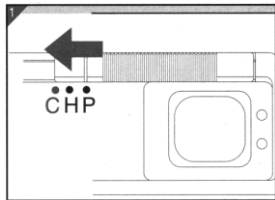
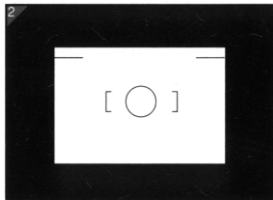
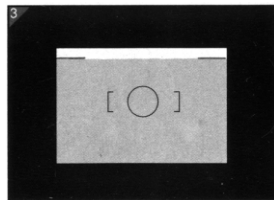
＊ 望遠48mmにすると0.4mまで近づいて撮影できます。このときは、構図に余裕をもたせて撮影してください。

ファインダー内の近距離補正マークより下側で構図を決め、シャッターボタンを押してください。

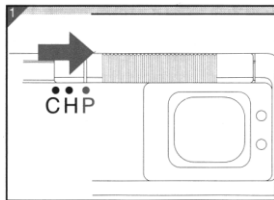
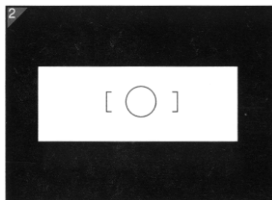
＊ 構図上、被写体がオートフォーカスフレームからはずれる場合は、フォーカスロック撮影をしてください。
＊ 三脚を使い、セルフタイマー撮影すると、カメラぶれを防げます。
＊ 図の青い範囲が写る範囲です。

シャッターボタンを半押して緑ランプが点滅したときは...

＊ 距離が近すぎてピントが合わない警告で、シャッターがきれません。シャッターボタンから指を離し、被写体から少し離れてシャッターボタンを押し直してください。

9. プリントタイプ切替え撮影

＊１本のフィルムの途中で3種類のプリントタイプの切替ができます。

Ｃタイプの場合

プリントタイプ切替えスイッチを左方向へ動かしてＣ印に合わせてください。
ファインダー内にＣタイプ撮影範囲フレームが表示されます。

Ｃタイプ撮影範囲フレーム内で構図を決め、撮影してください。
＊ 構図上、被写体がオートフォーカスフレームからはずれる場合は、フォーカスロック撮影をしてください。

0.5m(0.4m)～1m以内の被写体を写す場合は、近距離撮影になります。Ｃタイプ近距離補正フレーム内で構図を決めて、シャッターボタンを押してください。
＊ レンズを望遠48mmにセットしたときの近距離撮影の撮影距離は0.4m～1mとなります。
＊ 図の青い範囲が写る範囲です。

Ｐタイプの場合

プリントタイプ切替えスイッチを右方向へ動かしてＰ印に合わせてください。
ファインダー内にＰタイプ撮影範囲フレームが表示されます。

Ｐタイプ撮影範囲フレーム内で構図を決め、撮影してください。

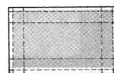
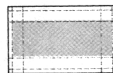
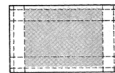
＊ 構図上、被写体がオートフォーカスフレームからはずれる場合は、フォーカスロック撮影(34ページ)をしてください。

＊ Ｐタイプの撮影画面では、被写体から２m以上離れて撮影することをおすすめします。

＊ Ｐタイプで近距離撮影するときは、撮影フレーム範囲いっぱいに被写体を入れるとプリント時に被写体が一部カットされることがありますので、構図に余裕をもたせて撮影してください。

プリントタイプの切替えについて

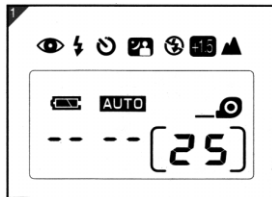
このカメラはHタイプ、Pタイプ、およびCタイプの３種類のプリントタイプを、フィルムの途中で切替えることができます。選択したプリントタイプは撮影時にフィルム上に磁気で記録されます。その際、フィルム上には常にHタイプの画面の範囲が写し込まれます。H・P・Cタイプのそれぞれのプリントは写し込まれた画面の引伸し範囲、縦横比および拡大率をプリント時に磁気記録に基づいて切替えたものです。(ネガカラーフィルム使用の場合)

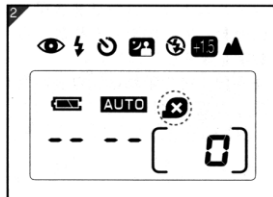
＊ Hタイプの縦方向と横方向、Pタイプの構方向およびCタイプの縦方向の引伸ばし範囲は写し込まれた面面より若干小さくなります。

Hタイプ

Pタイプ

Cタイプ

写し込み画面上の引き伸ばし範囲

	縦:横
Hタイプ	9:16
Pタイプ	1:3
Cタイプ	2:3

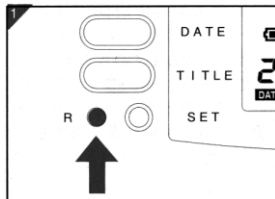
各プリントタイプの標準的縦横比

10. フィルムの取り出し方

フィルムの規定撮影枚数の撮影が終わると、自動的に巻き戻しが始まります。

＊ フィルムカウンターは、巻き戻しに連動して撮影した枚数から数字を減算していきます。

巻き戻し完了で自動的に停止します。撮影表示パネルのの点灯を確認した後、フィルム室カバーを開けてカートリッジを取り出してください。

＊ 写し終ったフィルムは、お早めに新システムの現像プリントサービス認定店にお持ちになることをおすすめします。

＊ 撮影表示パネルにマークが点灯しているときは、フィルム室開放レバーを繰り返し操作しないでください。

途中巻き戻しの方法

途中巻き戻し(R)スイッチを、ストラップ調節具の突起部で押すと、撮影途中のフィルムの巻き戻しができます。

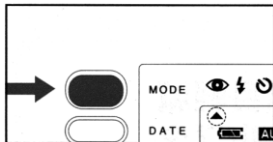
＊ このカメラは、途中巻き戻しをしたフィルムの再使用はできませんのでご注意ください。

＊ フィルムカウンターは巻き戻しに連動して、撮影した枚数から数字を減算していきます。
＊ 巻き戻し後の手順は、自動巻き戻しの場合と同じです。

応用撮影

撮影モードの切替えによる、赤目軽減撮影、日中フラッシュ撮影、セルフタイマー撮影、ポートレート夜景撮影、フラッシュなしの撮影、＋1.5露出補正撮影、遠景撮影、リモコン撮影などの応用撮影について説明します。

11. MODEスイッチの操作

＊被写体に応じて最適な露出方法を選択できます。

MODEスイッチを押すごとに、撮影表示マーク(▲)が撮影表示パネル上の各撮影モードのマークを順次表示して循環します。

＊ 一度設定したモードは固定されそのまま撮影が続けられます。
＊ 撮影が終わったらAUTOに戻しておいてください。
＊ 電源をOFFにして、再度電源ONにすると、AUTOに復帰します。

AUTO 自動フラッシュ撮影
（フラッシュAUTOモード）

↓

赤目軽減撮影(ランプ点灯)
（フラッシュAUTOモード）

↓

日中フラッシュ撮影
（フラッシュONモード）

↓

セルフタイマー撮影
（フラッシュAUTOモード）

↓

ポートレート夜景撮影
（フラッシュONモード）

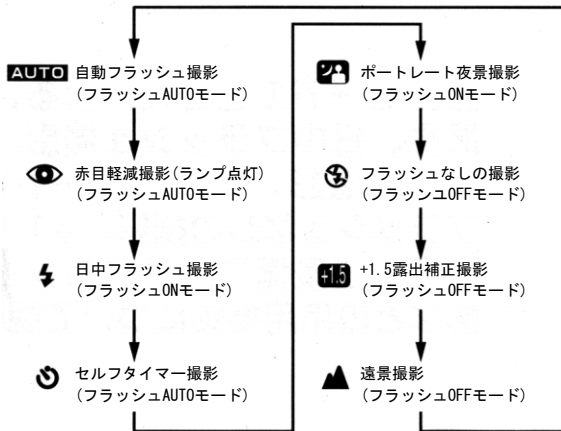
↓

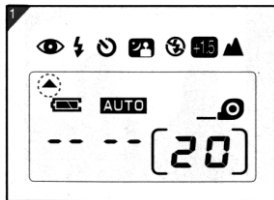
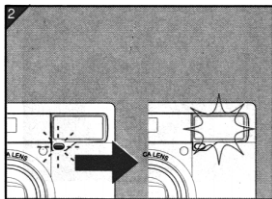
フラッシュなしの撮影
（フラッンユOFFモード）

↓

+1.5露出補正撮影
（フラッシュOFFモード）

↓

遠景撮影
（フラッシュOFFモード）

＊ セルフタイマー撮影モードでは撮影毎にAUTOに自動復帰します。

12. 赤目軽減撮影　◉フラッシュAUTOモード

MODEスイッチを押して撮影表示マーク(▲)を◉に合わせます。

シャッターボタンを押すと撮影直前に赤目軽減ランプが点灯した後、フラッシュが発光して撮影が終わります。

＊ 赤目軽減ランプが点灯してからフラッシュ発光までは約１秒かかります。カメラを動かしたり撮影される人物が動かないようにご注意ください。

赤目現象とは…

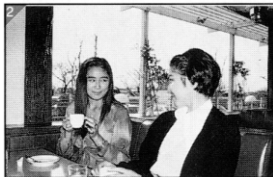
暗い場所での人物フラッシュ撮影をしたときに、フラッシュ光が目の網膜に反射して、目が赤く輝いて写ることがあります。
これを赤目現象といいます。

効果的な被写体

暗い場所での人物のフラッシュ撮影。
(ランプ点灯で瞳孔を小さくした上で本発光するため、赤日現象が軽減されます。)

＊ 明るい所ではフラッシュは発光しません。

13. 日中フラッシュ撮影 ⚡フラッシュONモード

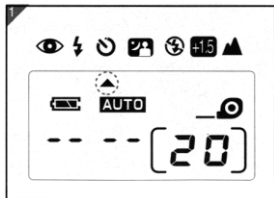
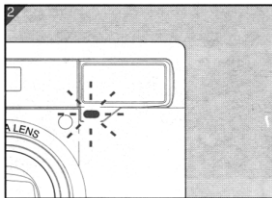
MODEスイッチを押して撮影表示マーク(▲)を⚡に合わせます。

日中フラッシュ撮影

被写体に向けてシャッターボタンを押すと、明るいところでもフラッシュが発光します。

フラッシュなし

効果的な被写体
①逆光の人物
②室内の窓際の人物
③曇りの日の人物
④日陰の人物

14. セルフタイマー撮影

フラッシュAUTOモード

MODEスイッチを押して撮影表示マーク(▲)を⌚に合わせます。

シャッターボタンを押すとセルフタイマーがスタートし、約10秒後にシャッターがきれます。

＊ セルフタイマーのスタートと同時に、赤目軽減ランプ／セルフタイマーランプが約７秒点滅し撮影の約３秒前から点灯に切替わります。

＊ 三脚をご使用ください。
＊ シャッターボタンは、カメラの後側に立って押してください。前側からでは正しいピント、露出が得られません。
＊ 作動中にキャンセルしたいときはパワースイッチをスライドさせ電源をOFFにしてください。
＊ フォーカスロック撮影でもできます。
＊ 撮影終了でモードは解除されますので、続けてセルフタイマー撮影する場合はセットし直してください。

15. ポートレート夜景撮影 フラッシュONモード

MODEスイッチを押して撮影表示マーク(▲)をに合わせます。

ポートレート夜景撮影

暗い場所での被写体に向けてシャッターボタンを押せば、最長約2秒までのスローシャッターによるフラッシュ撮影ができます。

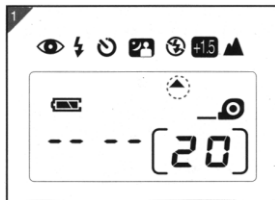
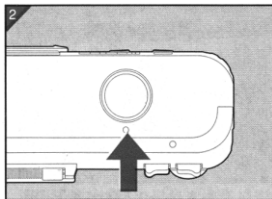
＊ カメラぶれを防ぐために、三脚をご使用ください。

＊ 被写体が動いているときは、ぶれて写ります。

自動フラッシュ撮影

効果的な被写体

①夜景の人物
②夕景の人物
③バックにフラッシュ光が届かない室内の人物

16. フラッシュなしの撮影 フラッシュOFFモード

MODEスイッチを押して撮影表示マーク(▲)をに合わせます。

被写体に向けてシャッターボタンを押せば、最長約2秒までのスローシャッターによる自動露出撮影ができます。'

＊ 暗い場所では、カメラぶれを防ぐために、三脚を使用してください。

＊赤ランプが点滅したら手振れ警告です。

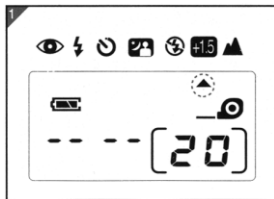
超スローシャッターによる撮影

効果的な被写体

①フラッシュが禁止されている美術館での撮影

②都会の夜景

③日没の風景

17. +1.5露出補正撮影 +1.5フラッシュOFFモード

MODEスイッチを押して撮影表示マーク(▲)を+1.5に合わせます。

+1.5露出補正撮影

被写体に向けてシャッターボタンを押せば、標準より約1.5絞り分明るい自動露出撮影ができます。

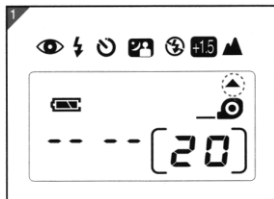
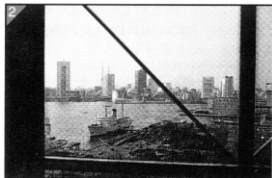
* 逆光であるがフラッシュを発光させたくない場合や、フラッシュの光が届かない場合にご使用してください。

* 暗い場所ではカメラぶれを防ぐために三脚をご使用ください。

露出補正なしの撮影

効果的な被写体

①画面全体を明るく仕上げたいとき
②スキー場の人物
③逆光の人物
④白バックの人物
⑤明暗コントラストが強い建物の暗部を明るく写したいとき

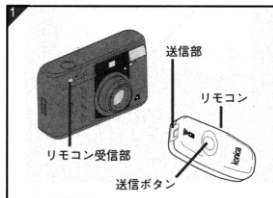
18. 遠景撮影 ▲フラッシュOFFモード

MODEスイッチを押して撮影表示マーク(▲)を▲に合わせます。
＊ フラッシュは発光されません。

ガラス越しの風景を遠景撮影

オートフォーカスフレーム内の被写体に関係なく、遠景にピントのあった撮影ができます。
＊ 夕・夜景など暗いときの撮影はシャッター速度が遅くなりますので、カメラぶれを防ぐために三脚をご使用ください。

一般撮影

効果的な被写体
①遠景撮影
②ガラス越しの風景

19. リモコン撮影

＊カメラから離れて撮影することができます。

リモコンの送信部をカメラの受信部に向けて送信ボタンを押すと、セルフタイマーランプが３秒間点滅後、シャッターがきれます。

＊ 全ての撮影モードで、リモコン撮影ができます。

＊ リモコンが付属されていないカメラの場合は、別売りのリモコンが必要です。

＊ 自動パワーOFFの状態では受信されません。

＊受信可能範囲は約５m以内(正面)です。

＊ リモコン受信部に強い光が当たるとき或いはインバーター蛍光灯に近いときは撮影できないことがあります。

＊ リモコンには電池が入っています。撮影できなくなったら、当社サービスステーションで電池交換をしてください。(有償)

リモコンの取付け方

＊ リモコンはストラップに取付けることができます。

＊ 取外す場合は、逆の手順で行ってください。

⚠警告　爆発して大けがの危険があります。リモコンを火の中に入れたり、分解、加熱しないでください。

おもな仕様

＊下記製品については当社試験条件によります。
＊製品の仕様、外観については予告なく変更することがあります。

項目	仕様
形　式	IX240 レンズシャッター式 AF全自動カメラ（ズームレンズ及び磁気IX機能内蔵）
画面サイズ	16.7×30.2mm
レンズ	コニカズームレンズ24mm F4～48mm F7.6 （5群5枚）レンズカバー付
パワースイッチ	電源ONでレンズカバーが開きレンズが繰り出す、電源OFFでレンズ収納されレンズカバーが閉じる、電池残量を撮影表示パネルに表示
シャッター	絞り兼用プログラムシャッター、電磁レリーズ、約2秒～約1/500秒
焦点調節	マルチ赤外光ノンスキャンアクティブ式自動焦点、撮影範囲：0.5（f=48mm 0.4）m～∞、撮影範囲外レリーズロック（緑ランプ点滅）、フォーカスロック可能、遠景撮影可能
露出調節	光導電素子使用のプログラムAE、中央重点測光
露出連動範囲	ISO 100 フィルム使用時　f=24mm EV3～EV17　f=48mm EV5～EV17
フィルム感度	自動設定（ISO 25～ISO 3200）
ファインダー	実像式ズームファインダー、オートフォーカスフレーム、近距離補正マーク（C/Hタイプのみ）、ファインダーわきに緑ランプ（点灯；AF・AEロック、点滅；近距離撮影連動外警告）、赤ランプ（点灯；フラッシュ発光表示、フラッシュ充電中表示、点滅；フラッシュOFFモード時の手ぶれ警告）
フラッシュ	手ぶれ限界の低輝度時に自動発光するフラッシュマチック機構、連動範囲・（ISO 100）f=24mm 0.5m～4.1m, f=48mm 0.4m～2.2m、発光間隔・約5秒
プリントタイプ	プリントタイプ切替えスイッチによりファインダー内の撮影範囲フレームをHタイプ,Pタイプ,Cタイプの3種類に切替え、フィルム途中の切替え可能、プリントタイプは撮影時にフィルムに自動的に磁気記録

モード切替え	：	自動フラッシュ撮影、赤目軽減撮影、日中フラッシュ撮影、セルフタイマー撮影、ポートレート夜景撮影、フラッシュなしの撮影、十1.5露出補正撮影、遠景撮影の各モードを選択可能（撮影表示パネルに表示）
セルフタイマー	：	電子式、作動時間・約10秒、赤目軽減ランプ / セルフタイマーランプが約7秒点滅した後に約3秒点灯、途中解除可能
フィルム給送	：	電動式、フィルム室カバーを閉じるとスタートするワンタッチオートローディング、自動巻き上げ、フィルムの規定撮影枚数の撮影終了で自動巻き戻し、巻き戻し後自動停止、途中巻き戻し可能、カートリッジ途中交換機能なし
フィルムカウンター	：	減算式、撮影可能枚数を撮影表示パネルに表示
オートデート	：	液晶表示式デジタルウォッチ内蔵、2050年までの月・日、時・分、写し込みなしを表示、秒単位まで修正可能、年（西暦）表示可能、自動的に磁気記録、月差；±90秒以内
タイトル	：	7言語より選択可能、撮影時にフィルムに自動的に磁気記録
使用温度範囲	：	ー10℃～50℃
電池寿命	：	50%フラッシュ発光のとき約12本（25枚撮りフィルム）
電　源	：	リチウム電池（CR2・3V）1本
大きさ	：	95×57×26.5mm
質量（重さ）	：	144g（電池別）